

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるひよし(放課後等デイサービス)				公表日	令和6年 12月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	必要に応じて運動玩具を倉庫に入れて場所を確保している。 子どもや保護者の困り感難常に話し合って対応を検討している 狭いながらも遊びを考えて活動している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	職員と子供の人数がだいたい同じになっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	刺激になるものは片付け、スッキリした環境構成にしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	掃除や消毒をし、清潔な環境で過ごせるようにしている。 子どもに合わせた空間を作るよう、限られたスペースと資源で頑張っています。 狭い空間を上手く使っている		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	振り返りや改善点を話し合い、次の療育へ生かしている。 子ども達個々の課題や目標は、プラン後など伝えを中心に行っている。療育中の気づきや疑問、子ども達の課題など声にあげる、また、あげやすくする雰囲気作りはしている。 とにかく、伝えや職員間の伝えは密に行うように心がけている。		
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員間で情報共有、共通理解をして支援や療育に取り入れている。		
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員間で情報共有、共通理解をして支援や療育に取り入れている。		
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月に1回勉強会を行っている。 定期的に研修を、行っている。		
	9	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者のニーズと本人の願い、療育中に見える課題等からまとめ計画書を作成している。		
	10	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員間でどのような支援を行っていくのか話し合い、共通理解がとれるようにしている。		
	11	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員間で情報共有、共通理解を図っている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	支援に必要な項目を記載し、わかりやすく具体的な支援内容を計画するようにしている。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスばるひよし(放課後等デイサービス)		公表日		令和6年 12月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員全員で意見を出し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	本やインスタから今の子供達に必要な遊びや活動を探し、療育に取り入れている。色々な文献や情報を見たり、各職員からの経験、アイデア提示など取り入れながら、その年の子どもたちに合った活動を取り入れている。	
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別の課題と集団の中での課題を支援していきけるよう、計画書を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝ミーティングを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	気になった点や改善点を出し合い、次の療育で生かせるよう話し合っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	療育後は一人ひとりの記録や特記事項を書いている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	計画書の更新に伴い、モニタリングを行っている。プランを行うのもいい機会だが、問題行動が多い教室や話し合いの時間が取れやすい教室は見直し等行いやすさはある。	
	21	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子供達が選択、決定することができるような声かけや関わりを行っている。そこは、視点において関わっているし、関わられるよう周知に力はいれている。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	主に管理者が参加している。	
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	対応ができるよう整っている。希望があれば対応している。	
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	必要な時にはすぐ対応し、情報共有や相互理解に努めている。	
	26	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	療育後の伝えでは、今日の様子や頑張った姿、成長した姿、課題として見えた点等、丁寧に話をしている。保護者からの話も聞いている。	
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	研修会を行っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるひよし(放課後等デイサービス)				公表日	令和6年 12月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保 護 者 へ の 説 明 等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時や変更があった時に説明をしている。		
	30	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者にニーズを書いてもらっている。		
	31	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	個別に時間を設け、説明をしている。		
	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談を希望された時には個別に時間を設け面談をしたり、療育後の伝えの時間に相談を受けた時は助言をしたりしている。		
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速に対応している。職員間で情報共有を徹底している。		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	定期的にホームページを更新したり、新聞を発行し事業所の活動を紹介したりしている。		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	保護者に同意を得た上で取り扱っている。個人情報の書類は外へは持ち出さない。		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	わかりやすい言葉や方法で伝えるようにしている。		
非 常 時 等 の 対 応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に行っている。		
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている。		
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	職員間で情報共有、共通理解をしている。		
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7	0	保護者に確認し、対応を共有している。		
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全面に十分配慮し、支援を行うようにしている。		
	42	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0			
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	報告書を作成、情報共有している。		
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修会を行っている。		
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	十分に把握できていない点があるため、学ぶ必要がある。			